



Mercury マーキュリー エヴォルト
Evoluto

測量成果作成・活用システム [マーキュリー・エヴォルト Ver.7]

セットアップガイド

新規導入編

Mercury-Evoluto を新規にセットアップする手順を解説します。

1. セットアップの前に	2
1-1. プロテクトタイプを確認します	2
2. プログラムの新規インストール	3
2-1. ネット認証（占有）の場合	3
2-2. ネット認証（LAN）の場合	5
[補足] ネット認証LANサーバーの機能	9
2-3. ネット認証（共有）の場合	10
2-4. USBプロテクト（SNS-W）の場合	12
2-5. USBプロテクト（SNS-LAN-X）の場合	14
[補足] SNS-LAN-Xサーバーの機能	19
3. プログラムの起動とプロダクトIDの認証	20
3-1. ネット認証（占有）の認証	20
3-2. ネット認証（共有）の認証	22
3-3. FCコンシェルジュの登録	22
[補足] ネット認証（占有）の解除方法	23
[補足] ネット認証（占有）の自動認証/解除の設定方法	24
[補足] ネット認証ライセンスのQ&A	25
[補足] 起動時にプロテクトの選択画面が表示された場合は	26
[補足] FCコンシェルジュとは	27

1 セットアップの前に

1-1. プロテクトタイプを確認します

Mercury-Evoluto のプロテクトには次の5種類があります。

お持ちのタイプを確認し、ネット認証ライセンス証書 または USBプロテクト を準備して、各セットアップの手順に進みます。

● ネット認証ライセンス(占有)

ネット認証ライセンス証書 (占有)

P.3へ

● ネット認証ライセンス(LAN)

ネット認証ライセンス証書 (LAN)

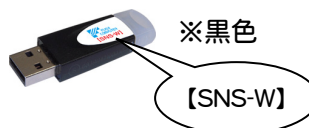
P.5へ

● ネット認証ライセンス(共有)

ネット認証ライセンス証書 (共有)

P.10へ

● USBプロテクト (SNS-W)



P.12へ

※ まだ装着しないでください。

● USBプロテクト (SNS-LAN-X)



P.14へ

※ まだ装着しないでください。

※ プロテクトタイプは、同梱の「お客様控(構成表)兼プロテクト装置保証書」に記載されています。

お客様控(構成表)兼プロテクト装置保証書

出荷プロテクト ○○○○



セットアップの前に確認してください

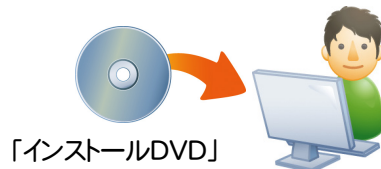
- セットアップするには、「コンピューターの管理者 (Administrators)」のアカウントでサインイン (ログオン) している必要があります。
- お使いのウイルス対策アプリによっては、セットアップ時に警告メッセージが表示される場合があります。このような場合には、ウイルス対策アプリなどの常駐プログラムを一時的に終了してから、セットアップをおこないます。
- セットアップやアンインストールをおこなう場合は、必要なデータは必ずバックアップしてください。バックアップの手順については、各ヘルプ、またはマニュアルをご覧ください。お客様が作られたデータはお客様にとって大切な財産です。万が一の不慮の事故による被害を最小限にとどめるために、お客様御自身の管理・責任において、データは必ず定期的に2か所以上の別の媒体 (HDD、CD、DVD など) に保存してください。また、いかなる事由におきましても、データの破損により生じたお客様の損害は、弊社では補償いたしかねますのでご了承ください。

2 プログラムの新規インストール

2-1. ネット認証 (占有) の場合

「ネット認証ライセンス(占有)」をお使いになる場合の、新規インストール手順です。

1. コンピューターに、「インストールDVD」をセットします。

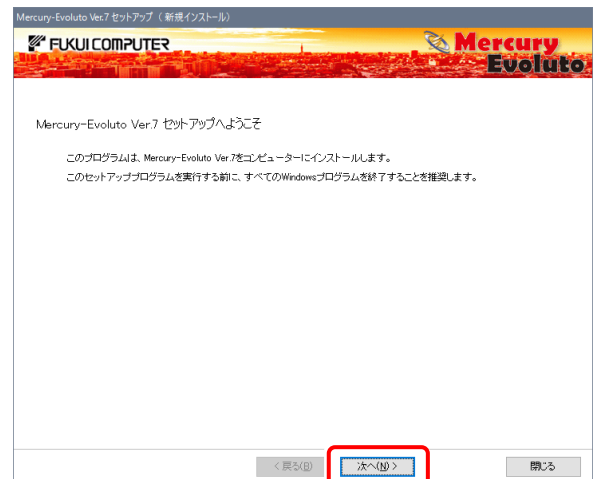


2. セットアップ画面の[Mercury-Evoluto]ボタンを押します。

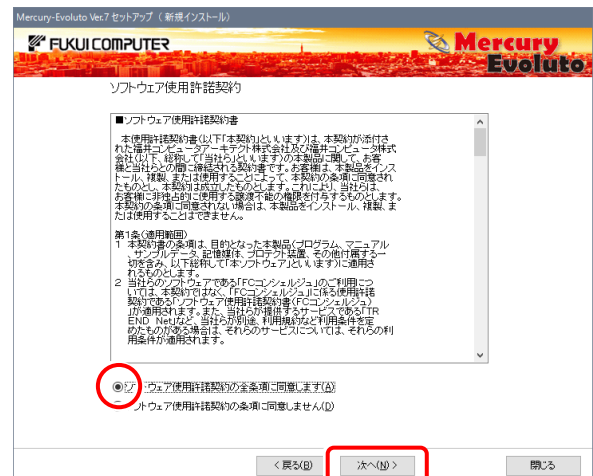


※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [Install.exe] を実行してください。

3. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



[ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



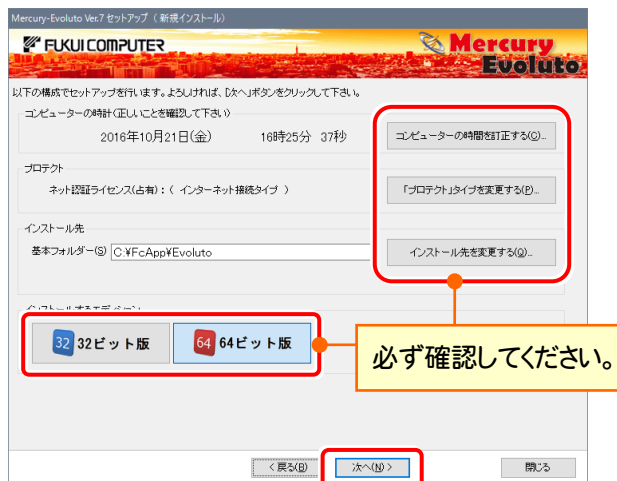
(次ページへ続きます)

2. プログラムの新規インストール - ネット認証(占有)の場合

コンピューターの時計、使用するプロテクト(「プロテクト」タイプ)、インストール先フォルダーを確認します。
必要があれば、変更してください。

64ビットOSをお使いの場合は、[インストールするエディション]で「64ビット版」を選択してください。
(32ビットOSの場合は、選択できません。)

設定を終えたら、[次へ]を押します。



プロテクトが「ネット認証ライセンス：(占有)」以外になっている場合は
[「プロテクト」タイプを変更する]ボタンから表示されるダイアログで、「ネット認証」の「占有」を選択します。



内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。
プログラムのインストールが開始されます。



インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認してください。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。

再起動が必要な場合は、再起動してください。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について
ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、プログラムが正常に動作しない場合は、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]ボタンから表示される資料を参考に、セキュリティソフト側を設定してください。

プログラムの新規インストールは完了です。
続いて 20ページ「3. プログラムの起動とプロダクトIDの認証」に進みます。

P.20へ

2-2. ネット認証 (LAN) の場合

「ネット認証ライセンス(LAN)」をお使いになる場合の、新規インストール手順です。

Step1 | ネット認証LANサーバーのインストール(サーバー)

ライセンス管理用のサーバーに、「ネット認証LANサーバー」をインストールします。

※ サーバーの再起動が必要になる場合がありますので、ご注意ください。

1. ネット認証ライセンス(LAN)で使用するサーバーに、「インストールDVD」をセットします。

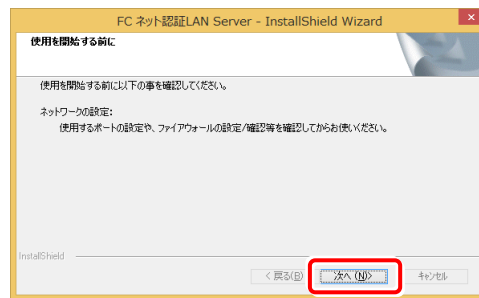
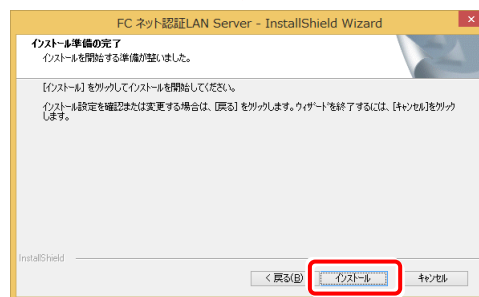
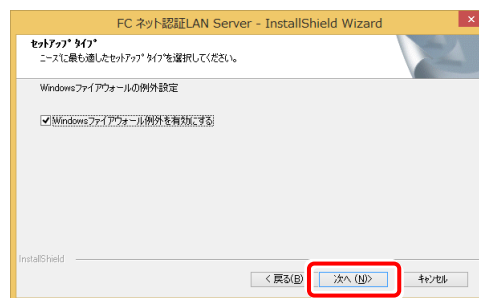
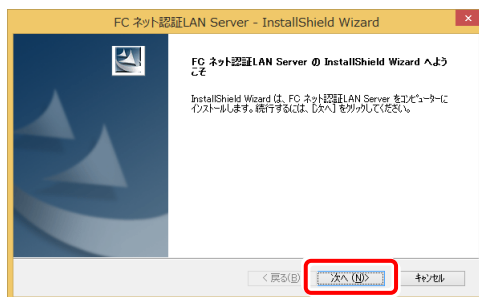


2. セットアップ画面の[ネット認証ライセンス LANモードサーバー]を押します。

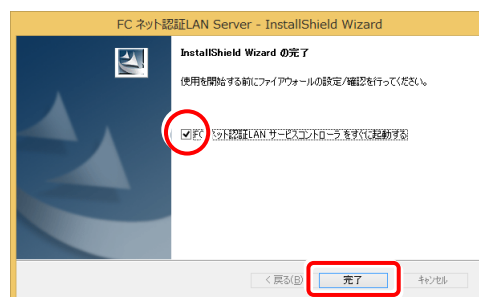


※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [Install.exe] を実行してください。

3. 表示される画面に従って、ネット認証LANサーバーをインストールします。



4. [FC ネット認証LAN サービスコントローラ をすぐに起動する]にチェックを付けて[完了]を押します。



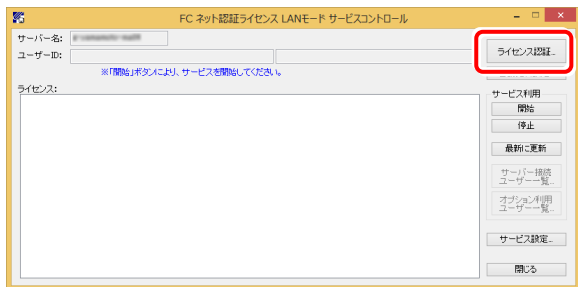
※ 再起動が必要な場合は、メッセージに従って再起動してから次の手順に進みます。

(次ページ「Step2」へ進みます)

Step2 | プロダクトIDの認証 (サーバー)

インターネットを通して、プロダクトIDの認証を行います。この処理により プロダクトIDに関連付けられたライセンスを使用できるようになります。

1. [FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール] 画面から[ライセンス認証]を押します。



※ 上記画面が表示されていない場合は、

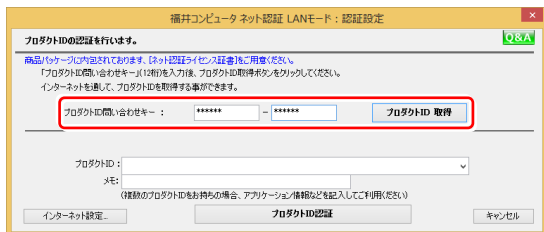
Windows10 : スタートメニューの[すべてのアプリ]

Windows8.1 : スタート画面の「アプリ画面」

Windows7 : スタートメニューの[すべてのプログラム]

から、[FC ネット認証LAN Server]-[FC ネット認証LAN サービスコントローラ]を起動してください。

2. [認証設定] 画面が表示されますので、[プロダクトID 問い合わせキー]を入力して、[プロダクトID取得]を押します。



※ 「プロダクトID問い合わせキー」は 6桁+6桁 で、送付される「**ネット認証ライセンス証書 (LAN)**」に記載されています。

ネット認証ライセンス証書 (LAN)

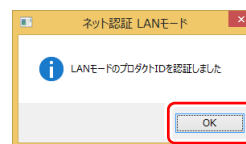
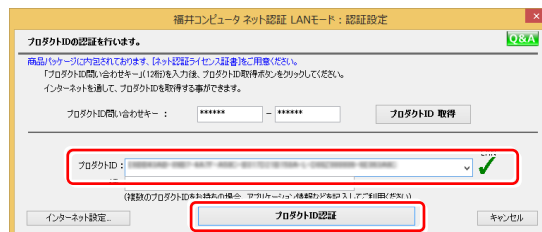
ネット認証ライセンス プロダクトID問い合わせキー

〇〇〇〇〇〇 - △△△△△△

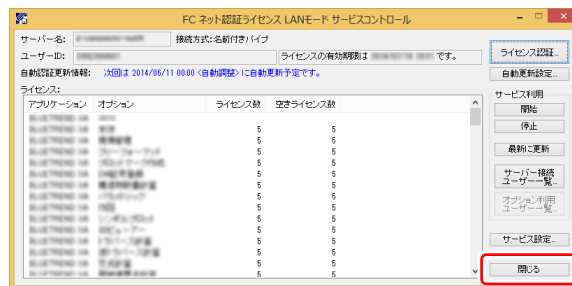
※ プロダクトIDの取得や認証が正常にできない場合は、[インターネット設定]を押して、プロキシ設定を変更してみてください。



3. [プロダクトID]が取得されたのを確認し、[プロダクトID 認証]を押します。



4. ライセンス情報が取得されたことを確認し、[閉じる]を押します。



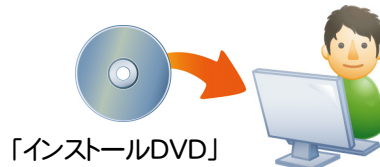
※ ネット認証LANサーバーの機能については、P.9「**[補足] ネット認証LANサーバーの機能**」を参照してください。

(次ページ「Step3」へ進みます)

Step3 | プログラムの新規インストール(クライアント)

Mercury-Evoluto を実行するコンピューター(クライアント)に、プログラムを新規インストールします。

1. コンピューターに、「インストールDVD」をセットします。



2. セットアップ画面の[Mercury-Evoluto]ボタンを押します。

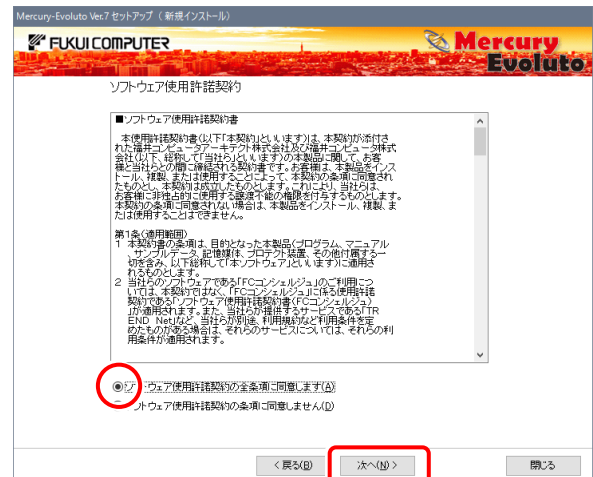


※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [Install.exe] を実行してください。

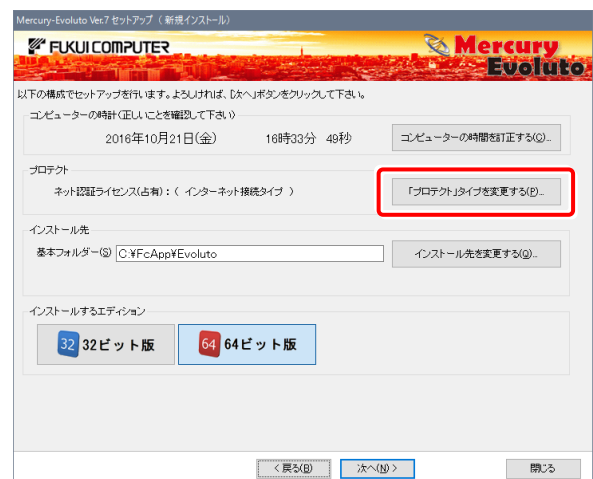
3. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



[ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



[「プロテクト」タイプを変更する]を押します。



(次ページへ続きます)

2. プログラムの新規インストール - ネット認証(LAN)の場合

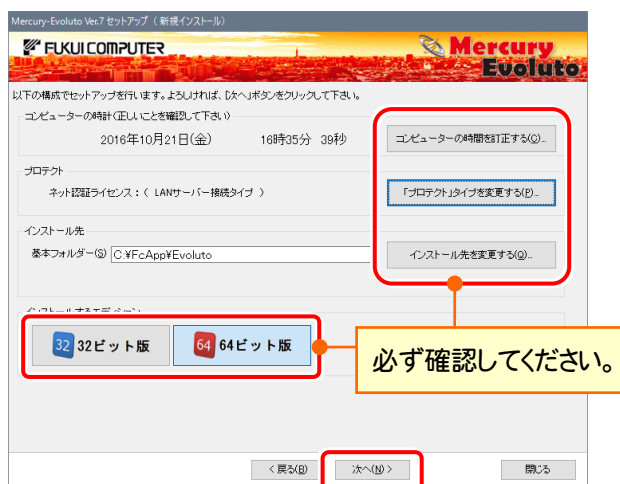
「ネット認証」の「LAN」を選択して、ネット認証LANサーバーをインストールしたサーバー名を入力し、[OK]を押します。



コンピューターの時計、使用するプロテクト(「プロテクト」タイプ)、インストール先フォルダーを確認します。
必要があれば、変更してください。

64ビットOSをお使いの場合は、[インストールするエディション]で「64ビット版」を選択してください。
(32ビットOSの場合は、選択できません。)

設定を終えたら、[次へ]を押します。



内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。
プログラムのインストールが開始されます。



インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認してください。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。

再起動が必要な場合は、再起動してください。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について
ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、プログラムが正常に動作しない場合は、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]ボタンから表示される資料を参考に、セキュリティソフト側を設定してください。

プログラムの新規インストールは完了です。

続いて 20ページ「3. プログラムの起動とプロダクトIDの認証」に進みます。

P.20へ

【補足】 ネット認証LANサーバーの機能

「FC ネット認証ライセンス LANモード サービスコントロール」は、「ネット認証ライセンス(LAN)」のライセンス情報の確認や、サービスの開始や停止をおこなうことができます。

— 起動方法 —

- Windows10 の場合 : Windowsのスタートメニューの「すべてのアプリ」
- Windows8.1 の場合 : Windowsのスタート画面の「アプリ画面」
- Windows7 の場合 : Windowsのスタートメニューの「すべてのプログラム」

から、[FC ネット認証LAN Server]—[FC ネット認証LAN サービスコントローラ]を起動してください。

The screenshot shows the 'FC ネット認証ライセンス LANモード サービスコントロール' window. It includes fields for 'サーバー名' (Server Name), 'ユーザーID' (User ID), and '接続方式' (Connection Method). A table displays 'ライセンス' (Licenses) with columns for 'アプリケーション' (Application), 'オプション' (Option), 'ライセンス数' (License Count), and '空きライセンス数' (Available License Count). On the right, there are buttons for 'ライセンス認証' (License Authentication), '自動更新設定' (Automatic Update Settings), 'サービス利用' (Service Use), and 'サービス設定' (Service Settings).

【サーバー名】
サーバーのコンピューター名が表示されます。

【ユーザーID】
ネット認証LANのユーザーIDが表示されます。

【ライセンス数】
同時使用が可能なライセンス数が表示されます。

【空きライセンス数】
現在使用可能な残りのライセンス数が表示されます。

【サービス設定】
接続設定やログファイルを設定します。
【接続】タブ
接続プロトコルを設定します。
【使用状況ログ】タブ
使用されたアプリケーションの記録を定期的に残します。

【ライセンス認証】
プロダクトIDの認証・更新などを行います。

【自動更新設定】
認証の自動更新処理について設定します。

【開始】
サービスを開始します。
ネット認証LANを使用する場合は、サービスを開始しておく必要があります。

【停止】
サービスを停止します。

【最新に更新】
空きライセンスなどを最新の情報に更新します。

【サーバー接続ユーザー一覧】
ライセンスを使用しているユーザーを確認します。

【オプション利用ユーザー一覧】
選択したオプションを使用しているユーザーを確認します。

- 【使用状況ログ】には、「何時何分の」「ライセンスの空き状況」が記録されます。使用するには、

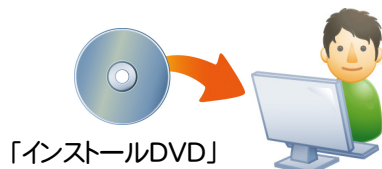
1. 【ログの出力】チェックボックスをオンにし、【パス】にログファイルの出力を設定（【間隔】と【最大履歴数】は適宜に設定）。
2. 「FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール」が表示されている状態で、ログの取得が開始されます。
3. 「FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール」を閉じると、ログファイルが保存されます。
4. 再度「FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール」を起動すると、前のログファイルは別ファイル（ログファイル名+日付）で残され、新たなログの取得が開始されます。

- ネット認証の「占有」と「LAN」を併用した場合、「占有」のライセンスが優先して使用されます。

2-3. ネット認証(共有)の場合

「ネット認証ライセンス(共有)」をお使いになる場合の、新規インストール手順です。

1. コンピューターに、「インストールDVD」をセットします。



2. セットアップ画面の[Mercury-Evoluto]ボタンを押します。

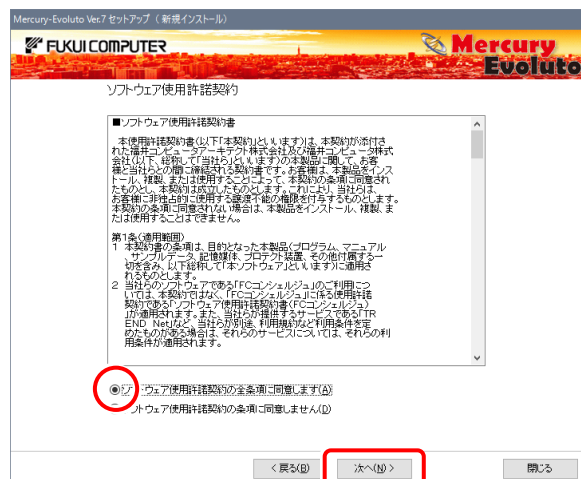


※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [Install.exe] を実行してください。

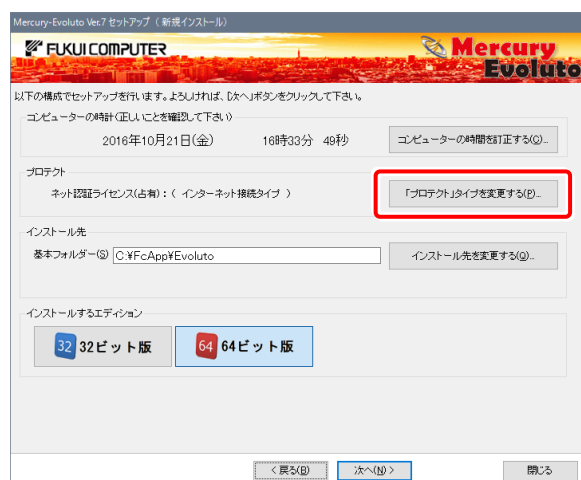
3. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



[ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



[「プロテクト」タイプを変更する]を押します。



(次ページへ続きます)

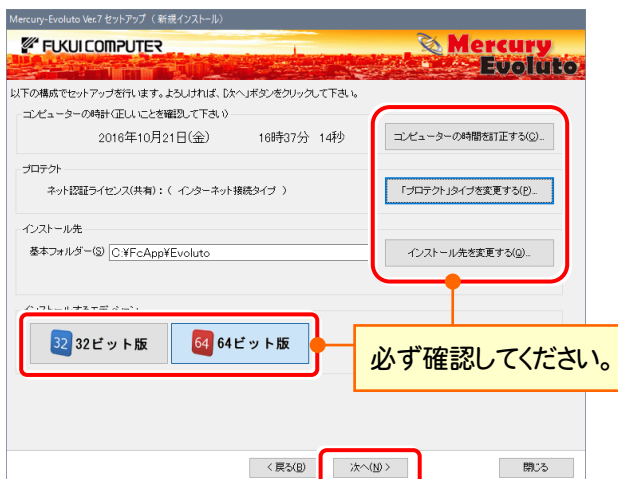
「ネット認証」の「共有」を選択して、[OK]を押します。



コンピューターの時計、使用するプロテクト(「プロテクト」タイプ)、インストール先フォルダーを確認します。
必要があれば、変更してください。

64ビットOSをお使いの場合は、[インストールするエディション]で「64ビット版」を選択してください。
(32ビットOSの場合は、選択できません。)

設定を終えたら、[次へ]を押します。



内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。
プログラムのインストールが開始されます。



インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認してください。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。

再起動が必要な場合は、再起動してください。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について
ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、プログラムが正常に動作しない場合は、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]ボタンから表示される資料を参考に、セキュリティソフト側を設定してください。

プログラムの新規インストールは完了です。

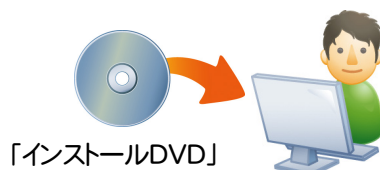
続いて 20ページ「3. プログラムの起動とプロダクトIDの認証」に進みます。

P.20へ

2-4. USBプロテクト (SNS-W) の場合

「USB プロテクト (SNS-W)」をお使いになる場合の、新規インストール手順です。

1. コンピューターに、「インストールDVD」をセットします。



※ USBプロテクト (SNS-W) は、まだコンピューターに装着しないでください。

2. セットアップ画面の[Mercury-Evoluto]ボタンを押します。

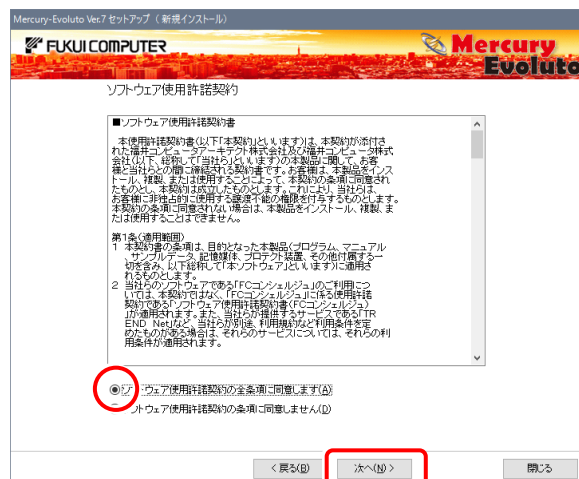


※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [Install.exe] を実行してください。

3. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



[ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



[「プロテクト」タイプを変更する]を押します。



「SNS」の「USBローカル」を選択して、[OK]を押します。

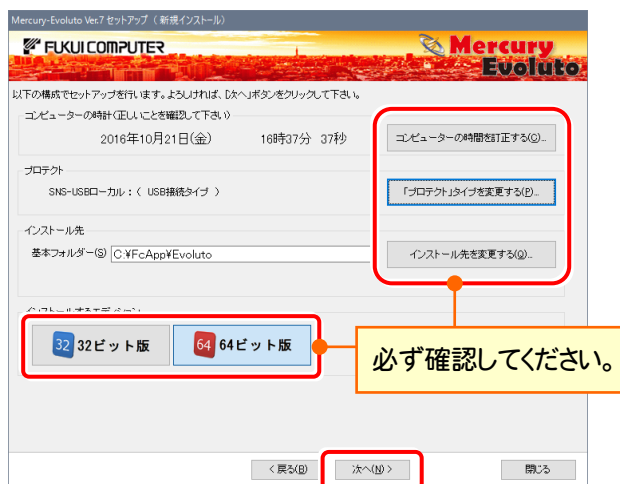


(次ページへ続きます)

コンピューターの時計、使用するプロテクト(「プロテクト」タイプ)、インストール先フォルダーを確認します。
必要があれば、変更してください。

64ビットOSをお使いの場合は、[インストールするエディション]で「64ビット版」を選択してください。
(32ビットOSの場合は、選択できません。)

設定を終えたら、[次へ]を押します。



内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。
プログラムのインストールが開始されます。



インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認してください。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。

再起動が必要な場合は、再起動してください。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、プログラムが正常に動作しない場合は、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]ボタンから表示される資料を参考に、セキュリティソフト側を設定してください。

4. コンピューターにUSBプロテクトを装着します。



自動的にプロテクトドライバーがインストールされ、USBプロテクト (SNS-W) が使用可能になります。

プログラムの新規インストールは完了です。

続いて 20ページ「3. プログラムの起動とプロダクトIDの認証」に進みます。

P.20へ

2-5. USBプロテクト (SNS-LAN-X) の場合

「USB プロテクト (SNS-LAN-X)」をお使いになる場合の、新規インストール手順です。

Step1 | システムセットアップ (サーバー)

ライセンス管理用のサーバーに、USBプロテクト【SNS-LAN-X】のシステムをインストールします。

※ サーバーの再起動が必要になる場合がありますので、ご注意ください。

- 1.** ライセンス管理用のサーバーに、「SNS-LAN-X用ライセンスCD」をセットします。



※ 重要!!

USBプロテクトは、
まだサーバーに
装着しないでください。

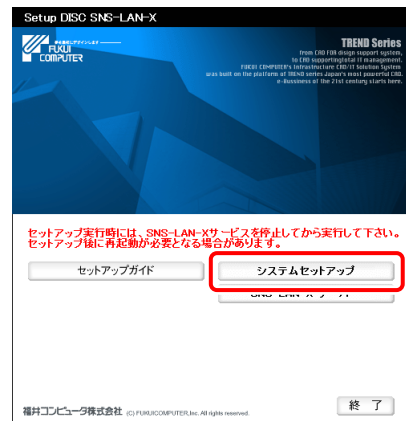


「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」 をお持ちのお客様は

プログラムのバージョンアップや、プログラムの追加購入で、「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」をお持ちのお客様は、最新の「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」をサーバーにセットして新規インストールをおこなってください。

(古い「SNS-LAN-X用ライセンスCD」は使用しないでください。バージョンアップや追加購入したプログラムが動かなくなる可能性があります。)

- 2.** セットアップ画面の[システムセットアップ]ボタンを押します。



※ 上記画面が表示されない場合は、「SNS-LAN-X用ライセンスCD」内の[Install.exe]を実行してください。

(次ページへ続く)

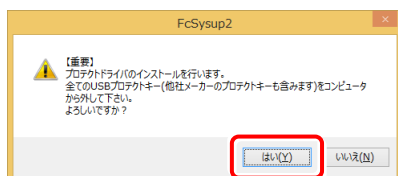
3. USBプロテクトの画像のボタンを押します。



[SNS-LAN-X] ボタンを押します。



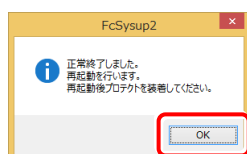
USBプロテクトがサーバーから外されている事を確認後、[はい] ボタンを押します。



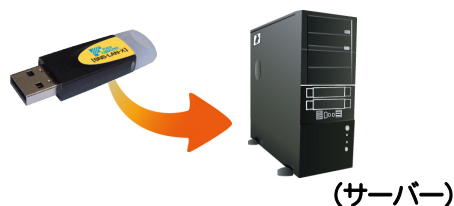
※ 重要!!

他社のソフトウェアで使用しているUSBプロテクトがある場合は、そのUSBプロテクトも外してください。

[OK] ボタンを押してサーバーを再起動します。

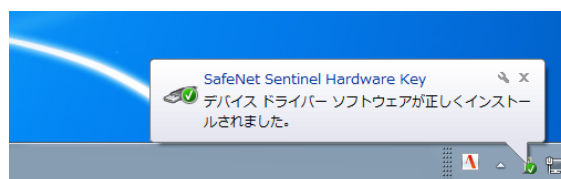
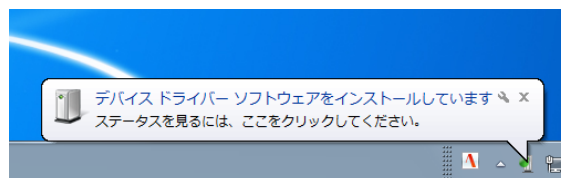


4. サーバーの再起動後、USBプロテクトを装着します。



自動的にデバイスドライバソフトウェアがインストールされ、プロテクトが認識されます。

(Windows7の場合は、下のようなメッセージが表示されます。)



(次ページ「Step2」へ進みます)

Step2 | SNS-LAN-Xサーバーのインストール(サーバー)

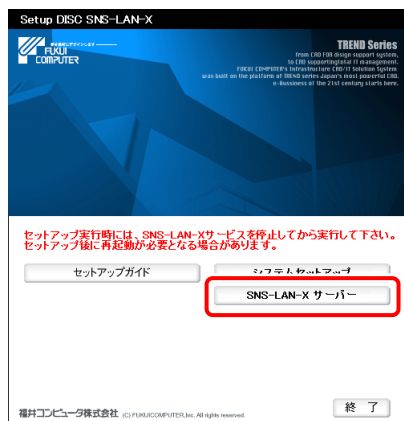
ライセンス管理用のサーバーに、「SNS-LAN-Xサーバー」をインストールします。

※ サーバーの再起動が必要になる場合がありますので、ご注意ください。

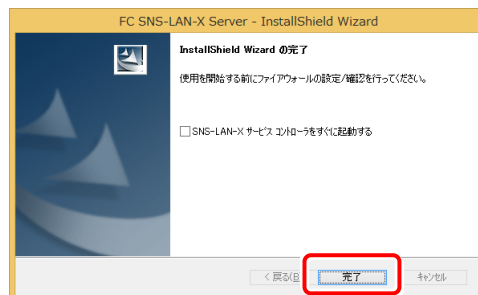
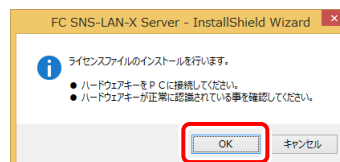
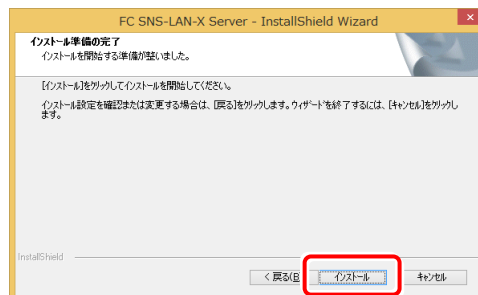
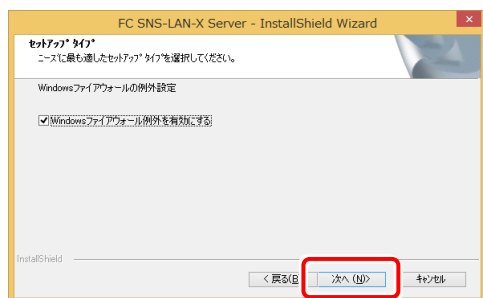
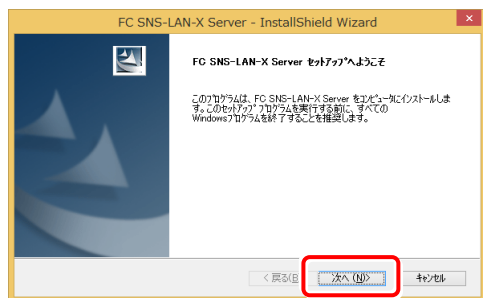
1. ライセンス管理用のサーバーに、「SNS-LAN-X用ライセンスCD」をセットします。



2. [SNS-LAN-Xサーバー] ボタンを押します。



3. 表示される画面に従って、SNS-LAN-Xサーバーをインストールします。



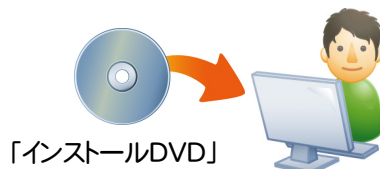
※ SNS-LAN-Xサーバーの機能については、
P.19 「[補足] SNS-LAN-Xサーバーの機能」
を参照してください。

(次ページ「Step3」へ進みます)

Step3 | プログラムの新規インストール(クライアント)

Mercury-Evoluto を実行するコンピューター(クライアント)に、プログラムを新規インストールします。

1. コンピューターに、「インストールDVD」をセットします。



2. セットアップ画面の[Mercury-Evoluto]ボタンを押します。

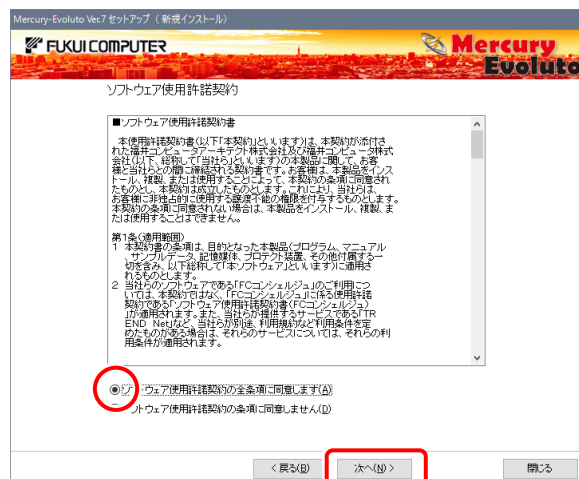


※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [Install.exe] を実行してください。

3. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



[ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



[「プロテクト」タイプを変更する]を押します。



(次ページへ続きます)

2. プログラムの新規インストール - USBプロテクト (SNS-LAN-X) の場合

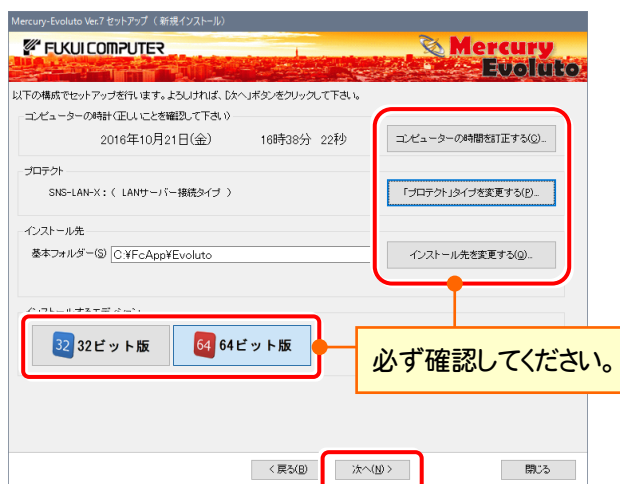
「SNS」の「LAN」を選択して、SNS-LAN-Xサーバーをインストールしたサーバー名を入力し、[OK]を押します。



コンピューターの時計、使用するプロテクト（「プロテクト」タイプ）、インストール先フォルダーを確認します。
必要があれば、変更してください。

64ビットOSをお使いの場合は、[インストールするエディション]で「64ビット版」を選択してください。
(32ビットOSの場合は、選択できません。)

設定を終えたら、[次へ]を押します。



内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。
プログラムのインストールが開始されます。



インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認してください。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。

再起動が必要な場合は、再起動してください。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について
ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、プログラムが正常に動作しない場合は、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]ボタンから表示される資料を参考に、セキュリティソフト側を設定してください。

プログラムの新規インストールは完了です。

続いて 20ページ「3. プログラムの起動とプロダクトIDの認証」に進みます。

P.20へ

【補足】 SNS-LAN-Xサーバーの機能

「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」は、「USBプロテクト【SNS-LAN-X】」のライセンス情報の確認や、サービスの開始や停止をおこなうことができます。

— 起動方法 —

- Windows10 の場合 : Windowsのスタートメニューの「すべてのアプリ」
- Windows8.1 の場合 : Windowsのスタート画面の「アプリ画面」
- Windows7 の場合 : Windowsのスタートメニューの「すべてのプログラム」

から、「FC SNS-LAN-X Server」-「FC SNS-LAN-Xサービスコントローラ」を起動してください。

【サーバ】

SNS-LAN-Xプロテクトが接続されているコンピューター名が表示されます。

【ユーザーID】

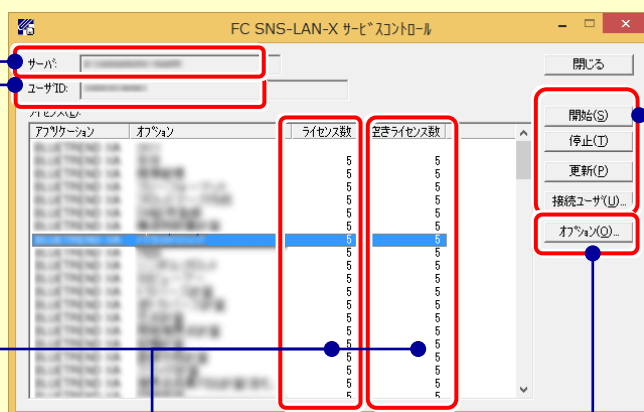
SNS-LAN-XプロテクトのユーザーIDが表示されます。

【ライセンス数】

同時使用が可能なライセンス数が表示されます。

【空きライセンス数】

現在使用可能な残りのライセンス数が表示されます。



【開始】ボタン

サービスを開始します。
SNS-LAN-Xプロテクトを使用する場合は、サービスが開始されている必要があります。

【停止】ボタン

サービスを停止します。

【更新】ボタン

表示されている情報を最新に更新します。

【接続ユーザー】ボタン

選択したアプリケーションを使用しているユーザーを確認します。

【オプション】ボタン

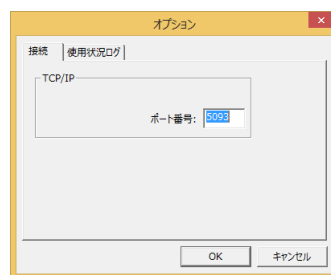
接続設定やログファイルを設定します。

【接続】タブ

接続で使用するポート番号を設定します。

【使用状況ログ】

使用されたアプリケーションの記録を定期的に残します。



- 【ポート番号】の初期値は「5093」です。接続に問題がある場合のみ、変更してください。変更した場合は、プログラム側のプロテクト設定のポート番号も合わせる必要があります。
- 【使用状況ログ】には、「何時間何分の」「ライセンスの空き状況」が記録されます。使用するには、
 1. 【ログの出力】チェックボックスをオンにし、【パス】にログファイルの出力先を設定。（【間隔】と【最大履歴数】は適宜に設定）
 2. 「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」が表示されている状態で、ログの取得が開始されます。
 3. 「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」を閉じると、ログファイルが保存されます。
 4. 再度「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」を起動すると、前のログファイルは別ファイル（ログファイル名+日付）で残され、新たなログの取得が開始されます。
- USBローカルとLANのプロテクトの2種類を併用した場合、USBローカルのライセンスが優先して使用されます。

3 プログラムの起動とプロダクトIDの認証

プログラムの起動時に、ネット認証ライセンスの「プロダクトIDの認証」と、「FCコンシェルジュのユーザー登録画面」が表示される場合があります。表示される画面にしたがって、プロダクトIDの認証とユーザー登録をおこなってください。

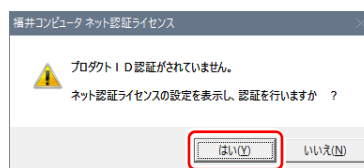
※ プロダクトIDの認証時およびFCコンシェルジュのユーザー登録時には、インターネットに接続された環境が必要です。

1. デスクトップの[Mercury-Evoluto]のアイコンをダブルクリックして起動します。



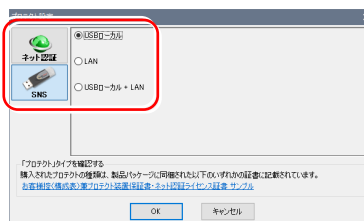
2. プロダクトID認証のメッセージが表示された場合は、[はい]を押してプロダクトIDの認証をおこないます。

※ ネット認証ライセンス(占有)または(共有)を使用する場合のみです。他のプロテクトを使用する場合は、[いいえ]を押して閉じてください。



[プロテクト設定]画面が表示された場合は、使用するプロテクトを選択して[OK]を押します。

※ どれを選択すればいいかわからない場合は、本書の 26 ページを参照してください。



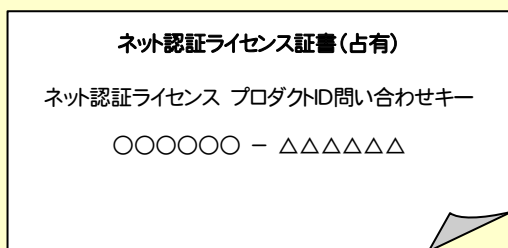
3-1. ネット認証(占有)の認証

ネット認証ライセンス(占有)の場合の認証手順です。

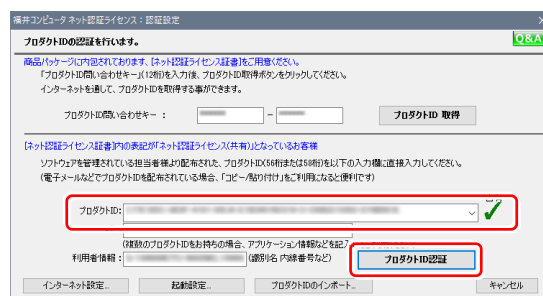
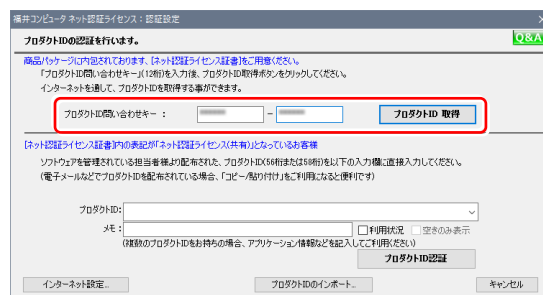
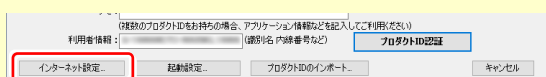
1. [プロダクトID問い合わせキー]を入力して、[プロダクトID取得]ボタンを押します。

[プロダクトID]が取得されたのを確認したら、[プロダクトID認証]ボタンを押します。

[プロダクトID問い合わせキー]は 6桁+6桁 です。
送付される「ネット認証ライセンス証書(占有)」に記載されています。



※ プロダクトIDの取得や認証が正常にできない場合は、[インターネット設定]ボタンを押して、プロキシ設定を変更してみてください。



(次ページへ続く)

2. 「ネット認証ライセンス 認証および解除設定」画面が表示されます。(右画面)

お客様のご利用環境に合わせて、「ライセンスの使用方法」と「コンピューターのインターネット環境」を選択してください。

選択した内容により、

- ライセンス認証の設定
 - ・ 製品起動時に自動認証
 - ・ コンピューター起動時に自動認証
 - ・ 手動で認証
- ライセンス認証解除の設定
 - ・ シャットダウン・ログオフ・再起動のときに解除
 - ・ スリープのときに解除

が最適に設定されます。

選択を終えたら、[OK]ボタンを押します。

利用者情報を入力して登録してください。

【利用者情報】は、プロダクトIDの利用状況(誰が使用しているか、どのコンピューターで使用されているか等)を確認する際に利用されます。

内線番号やニックネーム、コンピューターの識別名などを入力してください。

ネット認証ライセンス(占有)のプロダクトIDが認証されます。
続いて、次ページ「3-3.FCコンシェルジュの登録」に進みます。

3-2. ネット認証(共有)の認証

ネット認証ライセンス(共有)の場合の認証手順です。

1. [プロダクトID]に、ソフトウェア管理者から提供された[プロダクトID]を入力し、[プロダクトID認証]ボタンを押します。

ソフトウェア管理者の方へ

ライセンスの認証で必要になる「プロダクトID」は、送付される「ネット認証ライセンス証書(共有)」に記載されています。

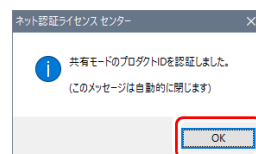
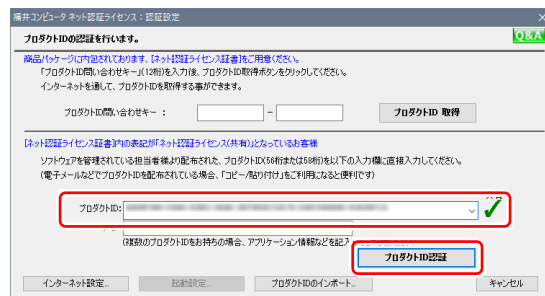
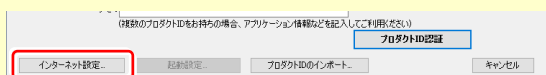
ソフトウェア管理者の方は、あらかじめどの利用者(コンピューター)がどの「プロダクトID」を使用するか決めて配布してください。

ネット認証ライセンス証書(共有)

プロダクトID

〇〇〇〇〇〇〇〇-△△△△.....
□□□□□□□□-XXXX.....

※ プロダクトIDの認証が正常にできない場合は、[インターネット設定]ボタンを押して、プロキシ設定を変更してみてください。



ネット認証ライセンス(共有)のプロダクトIDが認証されます。
続いて「[3-3.FCコンシェルジュの登録](#)」に進みます。

3-3. FCコンシェルジュの登録

FCコンシェルジュのユーザー登録をおこなうと、福井コンピュータグループが提供する各種WEBサービスをご利用いただくことができます。

※ FCコンシェルジュのご利用には、インターネットに接続できる環境が必要です。

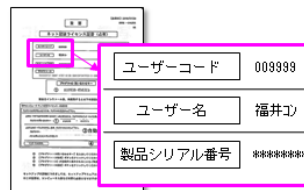
起動時に、FCコンシェルジュのオンラインユーザー登録画面が表示された場合は、必要事項を記入してユーザー登録をおこなってください。

登録が完了すると、「FCコンシェルジュ」が利用可能になります。

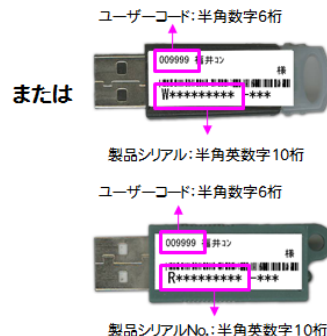
既にFCコンシェルジュでユーザー登録されている場合は、登録ユーザーの一覧が表示されます。使用するユーザーを選択すると、「FCコンシェルジュ」が起動されます。

※ 登録時に「ユーザーコード」と「製品シリアル」の入力を求められた場合は、右図を参照してください。

●製品に同梱されているネット認証ライセンス証書



●USBプロテクト裏面のシール

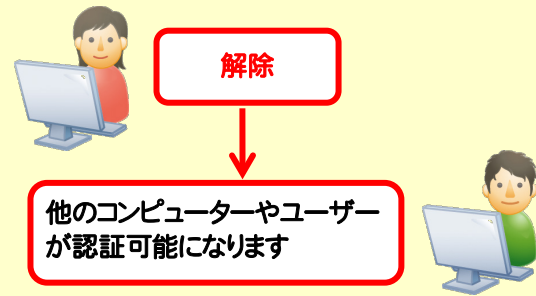


以上で Mercury-Evolutio の新規導入は **完了** です。

【補足】 ネット認証(占有)の解除方法

同じネット認証ライセンス(占有)を、他のユーザーまたは他のコンピュータで使いたい場合は、ネット認証を解除する必要があります。

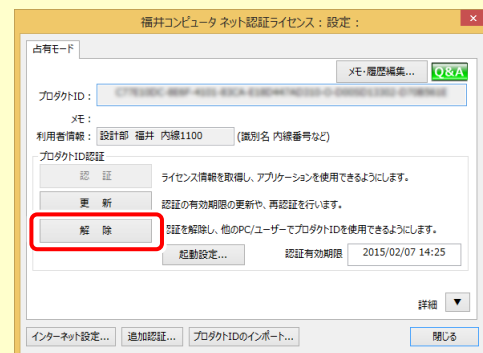
手動でネット認証ライセンスを解除したい場合は、以下の手順で解除してください。



FCコンシェルジュを使用している場合



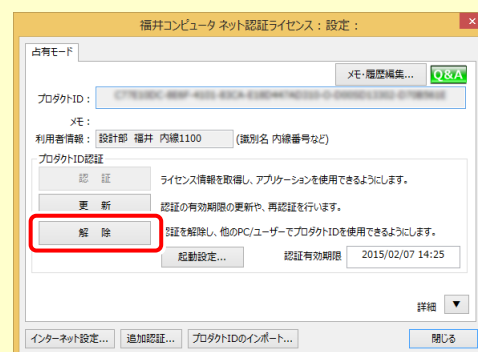
デスクトップのアイコンから、「FCコンシェルジュ」を起動します。



ネット認証ライセンスの設定画面が表示されます。
[解除]を押すとネット認証が解除されます。

FCコンシェルジュが表示されます。
[ネット認証ライセンス]の[ネット認証ライセンス管理]をクリックします。

FCコンシェルジュを使用していない場合



画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCネット認証ライセンスセンター」を起動します。

ネット認証ライセンスの設定画面が表示されます。
[解除]を押すとネット認証が解除されます。

【補足】 ネット認証(占有)の自動認証/解除の設定方法

現在設定されているネット認証ライセンス(占有)の自動解除と自動認証の設定を変更したい場合は、以下の方法で設定を変更します。

FCコンシェルジュを使用している場合



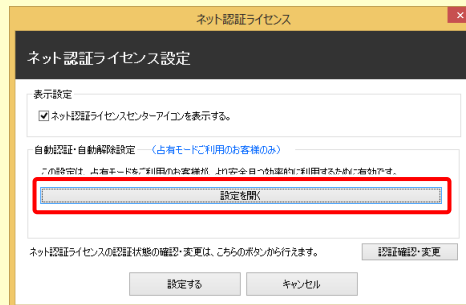
デスクトップのアイコンから、「FCコンシェルジュ」を起動します。



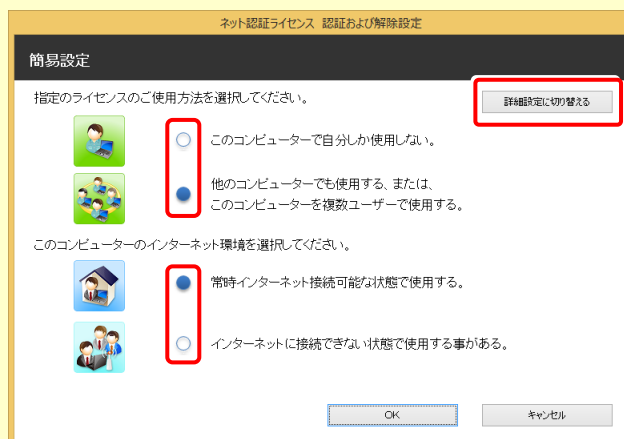
FCコンシェルジュが表示されます。
[ご案内]の[ネット認証ライセンス]をクリックします。

注意： ネット認証の際には、インターネットに接続されている必要があります。

インターネットに接続できない現場などに持ち出す場合は、自動解除を設定しないでください。また現場に持ち出す場合は、事前にネット認証を済ませておいてください。

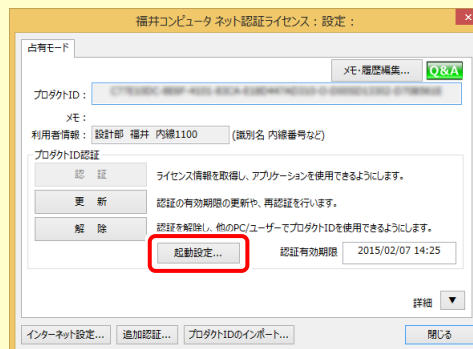


[設定を開く]を押します。



「使用方法」と「インターネット環境」を変更、または[詳細設定]で設定を変更します。変更後、[OK]ボタンを押してください。

FCコンシェルジュを使用していない場合



[起動設定]を押します。

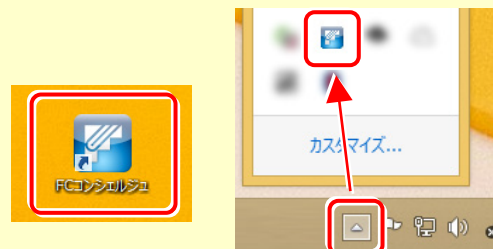
〔補足〕 ネット認証ライセンスのQ&A

ネット認証ライセンスの設定画面からネット認証ライセンスの Q&A を開くことができます。

Q&A には、ネット認証ライセンスの機能やお問い合わせのあった内容について記載されています。

開き方

1. デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCコンシェルジュ」を起動します。

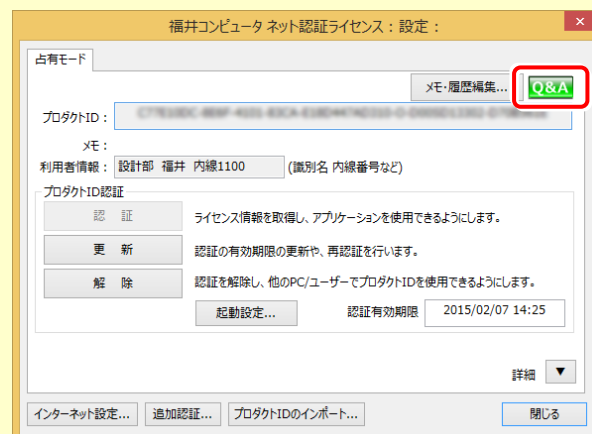


2. FCコンシェルジュが表示されます。
[ネット認証ライセンス]の[ネット認証ライセンス管理]をクリックします。



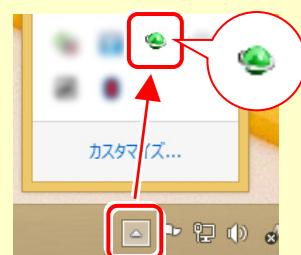
3. ネット認証ライセンスの設定画面が表示されます。
[Q&A]ボタンを押します。

ネット認証ライセンスの Q&A が開きます。



※ FCコンシェルジュを登録されていない場合、またはFCコンシェルジュがインストールされていない場合は

画面右下のタスクバーの通知領域に表示される「ネット認証ライセンスセンター」のアイコンをクリックして、ネット認証ライセンスの設定画面を開きます。

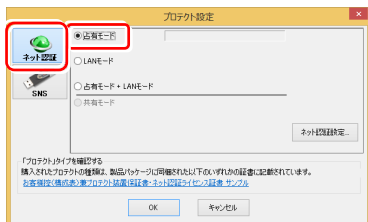


【補足】 起動時にプロテクトの選択画面が表示された場合は

お使いのプロテクトを選択し、[OK]ボタンを押してください。（プログラムによって、画面が異なる場合があります）

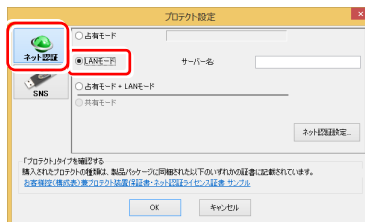
【ネット認証ライセンス(占有)】を使用

[ネット認証]－[占有モード]を選択



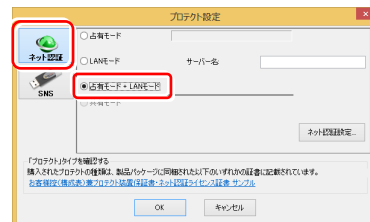
【ネット認証ライセンス(LAN)】を使用

[ネット認証]－[LANモード]を選択



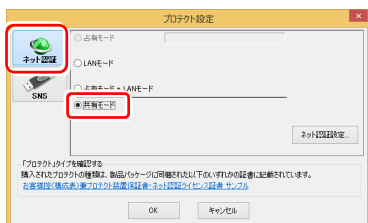
【ネット認証ライセンス(占有)】と【ネット認証ライセンス(LAN)】を併用

[ネット認証]
－[占有モード+LANモード]を選択



【ネット認証ライセンス(共有)】を使用

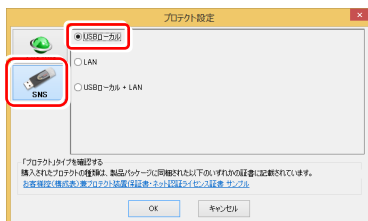
[ネット認証]－[共有モード]を選択



【ネット認証ライセンス(LAN)】を使用する場合は、[サーバー名]に、「FCネット認証LAN Server」をインストールしたサーバーのコンピュータ名を入力してください。

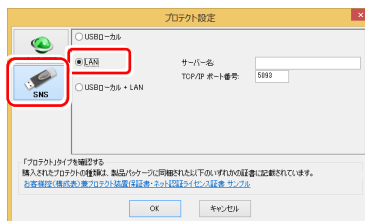
【SNS-W】を使用

[SNS]－[USBローカル]を選択



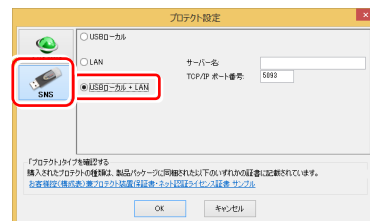
【SNS-LAN-X】を使用

[SNS]－[LAN]を選択



【SNS-W】と【SNS-LAN-X】を併用

[SNS]－[USBローカル+LAN]を選択



【SNS-LAN-X】を使用する場合は、[サーバー名]に【SNS-LAN-X】を装着したサーバーのコンピュータ名を入力してください。
また[ポート番号]には、サーバーの「SNS-LAN-X サービスコントロール」の[オプション]で設定されたポート番号を入力してください。（19ページを参照）

【補足】FCコンシェルジュとは

「FCコンシェルジュ」に登録していただくと、以下のようなサービスが受けられます。

- ご利用の製品に関する、最新の情報をお知らせいたします。
- ご利用の地域でおこなわれる、イベントやセミナーの情報をお知らせいたします。
- Q&Aやマニュアルの閲覧、サポートの電話番号案内やリモートサポートなど、サポートコンテンツをご利用いただけます。
- ソフトウェアをアップデート(最新の状態に更新)することができます。

※ すべての機能を利用するには、インターネット接続環境が必要です。

※ 画面は予告なく変更される場合がございます。



「FCコンシェルジュ」を起動させるには

デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCコンシェルジュ」を起動します。

